社内親ぼく深める

なんつねがもちつきで

食肉機械メーカーの㈱なんつね（南常之社長）は昨年12月28日、大阪府藤井寺市の本社工場で伝統のもちつき大会を開催し、社内の親ぼくを深めた。当日は南社長を含む社員家族が参集したほか南常男会長も顔をみせ、子どもたちの笑い声が響く和気あいあいのムードに包まれた。

同社のもちつき大会は伝統行事として毎年末に行われていたが、ここ10年程度は休止の状態だった。もちつき経験のない社員が増えてきたこともあり、昨年は社員の有志が実行委員となって復活させたもの。

南社長は「子どもたちの笑顔がとても明るかった。今後も社員一同が心を一つにしてお客さまへのサービスにまい進したい」と語った。南会長も伝統行事の復活を喜び、笑顔をみせていた。

もちをつく南社長。南常男会長も参加した